

# 水

## の駅大江

### 人と水とを結ぶ100年配水池



大江配水池「水の駅 大江」外観イメージ図(市道道通大江線、平田寺先東ヶ谷池付近に完成予定)

配水池は、安定して水道水を供給するための施設で、災害のときでも、水道水を安全に蓄えておくことができます。新たな配水池が大江区内に建設されます。人と水とを結ぶ配水池を通して、「水」への関心を深め、限りある資源である「水」の大切な利用に努めましょう。

問い合わせ 水道課 高橋 ☎0082

#### 水の安定供給のために

安全で、おいしい水を安定して供給していくためには、配水池の改修や更新、古くなった水道管の取り換えを、計画的に実施していかねばなりません。

不動山配水池(大江)は、建設後47年が経過し、市内でも古く、老朽化が進んでいます。同時に布設された配水管は耐震性が低いため、平成21年8月の震度6弱の地震では、配水管が破断し、広範囲にわたり断水が発生しました。

このため、不動産配水池と、配水系統が同じ波津配水池とを統合し、新たな場所に配水池を整備することとしました。災害に強い配水池の整備により、長期間にわたり水の安定供給が可能となります。新配水池は、26年度に設計を行い、27・28年度の2カ年で、建設工事を実施する予定です。

#### 市民と一緒に施設を考える

新配水池の建設にあたって、学識経験者や市民(大学生や高校生など)15人で構成する水道事業審議会が、6月に発足しました。

ここでは、新配水池が市民にとって身近に感じられ、長期にわたり安全安心な水を供給できる施設となるよう審議されました。全7回にわたる審議会の結果、新配水池の構造材質や外観、愛称などについて、次のとおり、市に答申されました。

#### 「答申内容」

- ▼構造は円筒2池、素材はステンレスが望ましい
- ▼配水池がある地域の水に関するテーマ「自然に集う歴史のまち」
- ▼名称「大江配水池」
- ▼愛称「水の駅 大江」
- ▼外観のイメージ(上図)
- ▼付帯意見「技術者の資格要件や工法などの明記、的確な施行や品質管理、新配水池敷地の有効利用などについて、より多くの意見を取り入れ、さらに議論を深めてほしい」

#### 100年配水池により水の大切さを感じる

市では、審議会の答申や意見を踏まえて、設計や建設を進めていきます。

新配水池は、将来にわたって不可欠な水道事業の象徴的存在として、また、世代を超えて水道の大切さを身近に感じられる施設として、100年間機能を維持する「100年配水池」として建設します。新配水池を通じて、子どもから大人まで、多くの皆さんが水道事業に関心を持ち、一緒に学び共感し合うことで、水の恩恵や自然環境などを深く知り、限りある資源である「水」を大切に利用する地域の実現を目指します。

#### ▼グループで活発に意見を出し合う



## たくさんの思いが詰まった配水池 (水道事業審議会委員)

### 多くの人に水への関心を持ってほしい



大江区 区長 久保直明 さん

会議は楽しく、たくさんの意見が出ました。特に若い人たちの意見は、斬新で面白く、とても勉強になりました。

新たな配水池は、人目に付きやすい場所にできるため、多くの人に見てもらい、生活に欠かせない水への関心を持ってほしいです。また、さまざまなことで活用していただきたいと思います。

100年後、千の風になって見に行きたいです。

### 将来の世代を超える水の安定供給



首都大学東京大学院特任教授 小泉 明 さん

水道を使用している皆さんは、水道施設の現状や将来を見据えた対策の重要性を、自分の事として捉える必要があります。専門家と市民の方々が一緒に新配水池の方針を審議できたことは、全国的にまれなすばらしい事例です。

新配水池を目先の判断ではなく、100年先を見据えて審議した方針が、将来の世代を超え、安心して安定した水道水の供給につながると思います。

### 100年配水池の完成が待ち遠しい



今回さまざまな年代の人と話し、すごく勉強になり、良い経験となりました。水道事業にも関心が持て機会があればまた参加したいです。

考えたものが形になるのはうれしく、完成が楽しみです。

県立相良高等学校2年生 森田利貴 さん

### 災害に強い配水池を知ってほしい



毎回の会議が楽しみで参加していました。大江配水池ができることで、災害時にも水が使えることを知りました。

大事なものが身近にできることを、自分だけではなく皆さんにも知ってほしいです。

県立相良高等学校2年生 先生なつみ さん

## 生活に欠かせない水の大切さを伝える (こども水道教室)

**水の大切さを知る**  
市では8月7日、小学生を対象に「まきのはらこども水道教室」を相良小学校で開催しました。  
これは、水の浄化や水道水の仕組みを学び、水や自然環境について関心を深めることを目的として行われたものです。  
児童らは、普段何気なく使っている水道について、市職員から説明を受けた後、実際に使用している水道管(耐震管)を特殊な機械で曲げて耐震能力を検証したり、水道工事の現場を見学したりしました。  
参加した児童は、「水道管はとても頑丈で地震がきても大丈夫だと分かった。水を使うときは大切にしたい」と話してくれました。  
新たに大江配水池の建設を計画しており、子どもたちが配水池から送られる水を、大切に利用するために、学び考える良い機会を提供することができました。  
今後も、配水池の多面的な利用も含めて、市民の皆さんにより「水」や「水道」に対して関心を持ってもらえるように取り組んでいきます。

#### ▼蛇口から出る水の仕組みを学ぶ



#### ▼水の浄化実験にみんな興味深々

